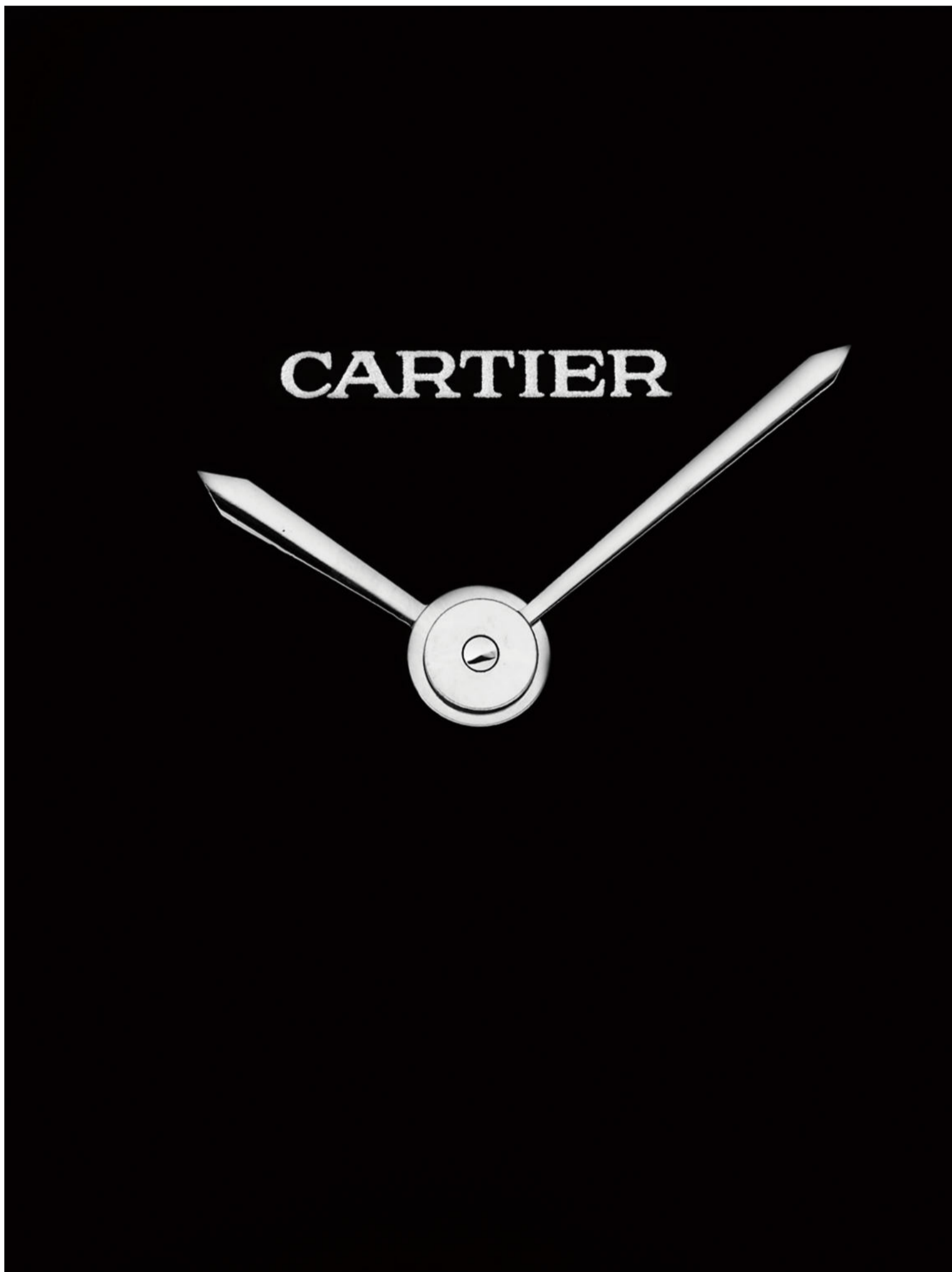

[ビズスタ]
BIZ Life
Style



Paul & Henriette © Cartier

“時”を語る、カルティエ

My Favorite Life Style



Paul & Henriette © Cartier

TANK

ジェンダーレスな魅力漂う ミニマルデザインの「タンク」

「Less is More」少ない方が豊かである。「ミニマルデザイン」の考え方を体現するよう、削き落とされたデザインが魅力の「タンク」。すべての色を包摂するブラックカラーの文字盤には、インデックスもなく、時間束縛されず、自分らしさを謳歌するというメッセージが込められているようだ。最大の魅力はジェンダーレスな佇まい。サイズ感やケースの薄さも性別を問わず似合うものだ。「タンク」の薄さも性別を問わず似合うものだ。「タンク」の薄さも性別を問わず似合うものだ。「タンク」の薄さも性別を問わず似合うものだ。



© Cartier

タンク ルイ カルティエ
29.5×22mm クォーツ
イエローゴールド
アリゲーターストラップ
1,372,800円(税込)



© Cartier

タンク ルイ カルティエ
33.7×25.5mm
手巻き (Cal. 1917 MC)
イエローゴールド
アリゲーターストラップ
1,742,400円(税込)



© Cartier

タンク マスト
33.7×25.5mm
クォーツ
ステンレススティール
アリゲーターストラップ
434,500円(税込)



© Cartier

タンク マスト
29.5×22mm
クォーツ
ステンレススティール
アリゲーターストラップ
412,500円(税込)

SANTOS DE CARTIER

マニュファクチュールで進化する「サントス ドゥ カルティエ」

「ビジネスシーン」は、各詞以上に持ち主のアイデンティティを物語る存在となる腕時計。「サントス」がこの世に誕生していなければ、時計はもう「時間」を計測する利便性が追求されていかも知れない。現代のファッションも大きく変わっていったことだろう。そういう意味で、「サントス」の功績は非常に大きい。それだけ重要なコレクションは、2000年にスイスのラシャートフォンに新工場を構えてから、徐々に進化を遂げ、自社生産のマニュファクチュールとしての姿勢を表明してきた。2009年には、自社製ムーブメントを発表し、2010年からは外装部分のケースやブレスレットも自社で手がけていく。その結果として、自分で簡単にブレスレットのアリゲーターストラップを交換できる「クイックスイッチ」とブレスレットの長さを調節できる「スマートリンク」システムを搭載することが可能になったのだ。新作に見られる独特のブルー文字盤や、スケルトンモデルの登場も、マニュファクチュールならではの卓越した技があらわに実現できるものなのだ。



Iris Velghe © Cartier



© Cartier

サントス ドゥ カルティエ
47.5×39.8mm
手巻き (Cal. 9611 MC)
ステンレススティール
ステンレススティールブレスレット、
アリゲーターストラップ各1本
4,224,000円(税込)



© Cartier

サントス ドゥ カルティエ
47.5×39.8mm
手巻き (Cal. 9611 MC)
ステンレススティール
ステンレススティールブレスレット、
アリゲーターストラップ各1本
4,224,000円(税込)

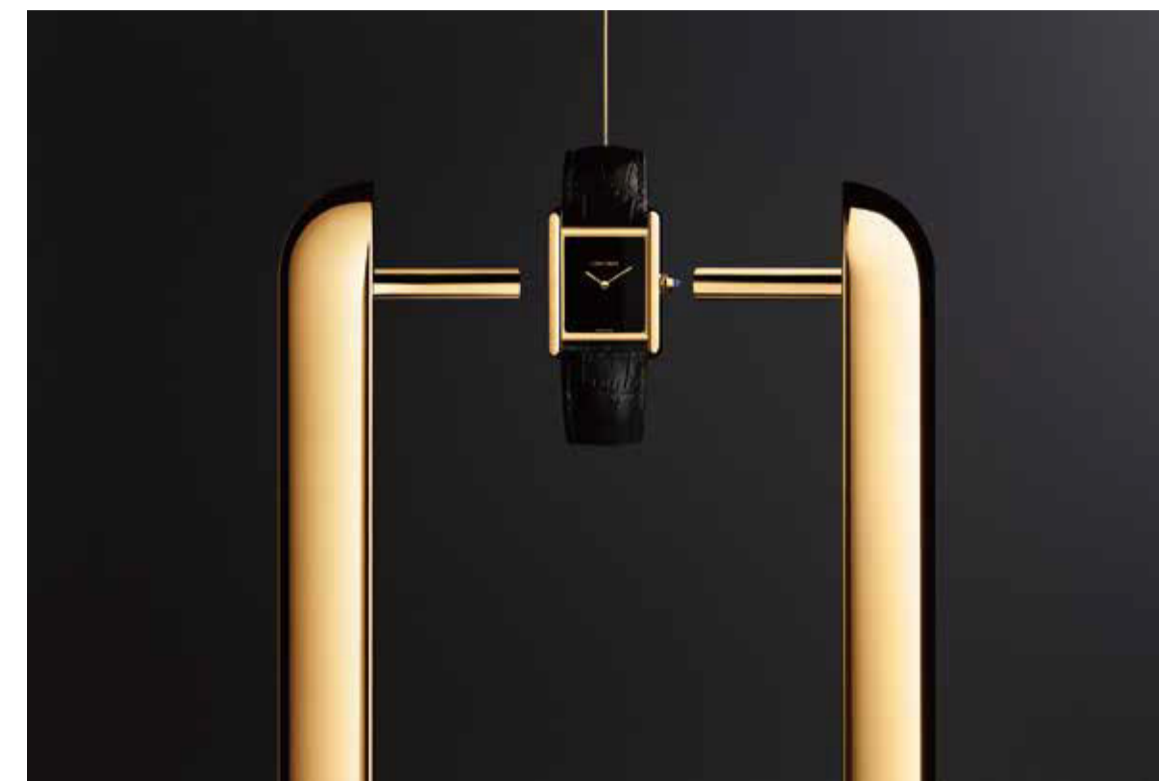


Vincent Wulverryck © Cartier

サントス ドゥ カルティエ
47.5×39.8mm
自動巻き (Cal. 1847 MC)
ステンレススティール
ステンレススティールブレスレット、
カーフスキンストラップ各1本
998,800円(税込)

カルティエにとって、時間とは？

単に計測する対象ではなく、自らに寄り添うもの。大切なのは、今、この瞬間、この場所。いわば、時間は、「今」を自分らしく、有意義に過ごすためにこそ使うものなのだ。その時の哲学を秘めて、カルティエは、1世紀以上をかけて、時間という千変万化であり、タイムレスで実態のないものを独自のスタイルのタイムピースへと昇華してきた。それは、絶えず可能性の限界、美的感覚の限界、アイデンティティの限界への挑戦となる。まさに、カルティエの腕時計は、メゾンの創造性と卓越した技の結実。身に着ける人を鼓舞し、人生のステップアップに寄り添うパートナーとして、これ以上ふさわしい存在はないだろう。



Paul & Henriette © Cartier

Men's Watch News Flash

ルイ・カルティエの伝説をまとう

カルティエのウォッチを語るうえで外せないのが3代目当主ルイ・カルティエだ。新時代の好きでつねにチャレンジを怠らなず、メンを世界へ広げたいと、たことでも知られる人物である。その大胆な生き様は、現代を生きる男性にこそ、刺激を与えるはずだ。

2022年の新作でも、彼の伝説を語る3つのコレクションが進化を遂げた。特筆すべきは、いずれも魅力的な新カラーが登場した。ひしひしと、メンを代表する人気コレクション「タンク」の系譜を受け継ぐ「タンク ルイ カルティエ」。1917年に誕生して以来愛されている、2本の並行する縦枠「ロウタン」ギョ

ラーケースのデザインを、1920年に再解釈したものだ。縦枠を細くして角を丸くし、ケースを伸ばしたウォッチが特徴で、実際にルイ・カルティエが愛用していたことも有名である。今年注目したいのは、漆黒の文字盤。同じ漆黒の文字盤は、「タンク マスト」の新作にもお目見えした。昨年「タンク ルイ カルティエ」を踏襲し、刷新されたシンプルでデザインにブラックカラーがよく映える。もうひとつ、ルイ・カルティエと所縁の深いコレクションといえは「サントス」をおいてほかならない。彼の友人であったブラジル人の大富豪で、空を飛ぶことが何よりも好きだった飛行家



Matthieu Lavanchy © Cartier

Ladies Watch News Flash

ハイジュエラーの矜持が息づく
ジュエリーウォッチ

PANTHÈRE DE CARTIER

大胆にしなやかに生きる現代女性のアイコン
「パンテール ドゥ カルティエ」

世界中のロイヤルファミリーや各界のセレブリティを虜にしたカルティエのクリエイション。誇り高きハイジュエラーとして、芸術的なジュエリーウォッチの数々が歴史を彩ってきたことも忘れてはならない。なかでも、1914年に初めて時計として誕生した「パンテール」のデザインは造形の美しさに止まらず、自由を愛し、時代の先をゆく女性たちの代名詞となっていた。最初に「パンテール」の異名を持ち、パリジェンヌの憧れを集めたのは、男性中心の社会で、メゾンのクリエイティブ・ディレクターとして活躍したジャンヌトウーサン。その後、抜群のセンスと大胆な行動で魅了したウィンザー侯爵夫人や、パリのファッションアイコンとして注目を集めたディジー・フェロウらが名を連ねる。強い眼差しに、しなやか



Iris Velghe © Cartier

な四肢、野性味あふれるスタイルは、パンテールを体現する多面的な魅力を持つ女性たちのように具体的な造形から、幾何学、抽象まで実に幅広い表現が用いられてきたことも特徴である。

2023年は、宝石のカラーを思わせるプラム、ゴールド、ナイトブルー、ブラックの4つのカラー文字盤の優美なモデルが登場した。見る角度によって、表情が異なる輝きを楽しめるのも、幾つもの顔を持つパンテールウーマンを思わせる。また、インデックスがない文字盤は、時間という概念から解放されて、自由を謳歌する女性を象徴するようだ。一方で、「パンテール ドゥ カルティエ」の魅力が、小ぶりでエレガント

なデザインなのに視認性が高いところと称賛する女性も多く、定番モデルも人気を博している。身に着ける人のライフスタイルに合ったスタイルを選べるのも、「パンテール」がどんな時代でも愛されてきた理由のひとつ。そして、何より、「パンテール ドゥ カルティエ」は、どんな女性の腕元にも似合う。それは、このタイムピースを身に着ければ、女性の中に眠る、パンテールを表す大胆さ、自分らしさ、自信、魅きつける力、優美、しなやかさのいずれかのキーワードが共鳴するからだ。腕元に「パンテール」の輝きがあれば、きつとあなたに寄り添い、豊かな時間が過ぎるように導いてくれるはずだ。



© Cartier

パンテール ドゥ カルティエ
30×22mm クォーツ
ステンレススチール
ステンレススチールプレスレット
594,000円(税込)



© Cartier

パンテール ドゥ カルティエ
30×22mm クォーツ
ステンレススチール、ダイヤモンド
ステンレススチールプレスレット
1,161,600円(税込)



Antoine Pivdori © Cartier

パンテール ドゥ カルティエ
25×20mm クォーツ
イエローゴールド、ダイヤモンド
イエローゴールドプレスレット
日本限定
3,986,400円(税込)

掲載した商品の価格は令和4年11月24日時点のものです。価格や仕様は予告なしに変わることがございます。

Biz Life Style Pick up >>>

時代を超えて愛されるカルティエ ウォッチが今年も集結。
年に一度のクリスマスウォッチコレクションフェア。EYE
EYE
ISUZU

アイアイイズ 本店
高松市多肥下町1523-1 TEL.087-864-5225
営業時間/11:00~19:30 定休日/毎週水曜

香川県内で唯一となるカルティエウォッチ正規販売店。約20にも及ぶ内外のブランドが一堂に会する国内最大級の時計専門店。四国はもちろん関西や中国地方からもウォッチファンが集まることでも有名。最新コンセプトが導入されたカルティエコーナーも充実のひとつで、落ち着いた空間の中でその美の世界をじっくりと堪能できる。

クリスマスシーズンに合わせて毎年実施されている恒例のカルティエウォッチコレクションフェアは、12月17日(土)から12月25日(日)まで開催予定。会場は本店に隣接する「アイアイイズeast」で、例年以上の規模になるとのことなので楽しみだ。詳細の確認はお気軽にお問い合わせを。



取り扱いブランド

カルティエ、ハリーウィンストン、シャネル、ブルガリ、ランゲ&ゾーネ、オーデマピゲ、ヴァシュロン・コンスタンタン、ウブロ、パネライ、IWC、ジャガールクルト ほか

<https://www.eye-eye-isuzu.co.jp>

カルティエ カスタマー サービスセンター
フリーダイヤル 0120-301-757
受付時間/10:00~20:00 無休(年末年始を除く)

www.cartier.jp